

会議名	令和5年度 第2回 七尾市健康福祉審議会 高齢者福祉分科会
開催日時	令和5年11月9日(木) 午後1時30分～午後2時30分
開催場所	パトリア3階 七尾市役所 健康福祉部 会議室3
出席委員	荒川委員、飯田伸委員、石川委員、円山委員、北山委員、佐野委員、竹本委員、津田委員、芳原委員 計9名
事務局	高齢者支援課：裕課長、春木補佐、城石補佐、松下補佐、岡島、勝尾、播摩、西野、山城 健康推進課：鍛治 福祉課：赤岩補佐

1. 開会

事務局(課長)	会議資料、当日資料確認 委員の出席状況(15名中9名の出席)
---------	-----------------------------------

開会

事務局(課長)	開会のあいさつ(課長・円山会長)
---------	------------------

2. 説明・報告事項

(1) 第8期計画の取り組み状況と課題について

<p>○高齢者等の状況</p> <p>○各施策の取り組み状況</p> <p>第1節 介護予防の推進について</p> <p>第2節 生活支援の充実について</p> <p>第3節 住まい・生活環境の整備について</p> <p>第4節 在宅医療・介護連携の推進について</p> <p>第5節 介護サービスの充実・円滑な運営について</p> <p>第6節 認知症施策の推進について</p> <p>第7節 権利擁護の推進について</p> <p>○日常生活圏域とその状況</p> <p>○施設設備等の状況</p> <p>○第8期計画における現状と課題</p>	
事務局	第8期計画の取り組み状況と課題について説明
事務局	事前質問について、別紙内容で回答。
委員	<p>認知症サポーター養成講座は、本当に大事でたくさんやっていただいていたが、そのサポーターになった人がサポートした実績の回数とかデータがあるか。</p> <p>引き受けてやりたいと言って受けたのはいいが、実際に実動される方は何パーセントぐらいいるのか。時間でも人数でもいい。結局やってもらうために受けてもらっているわけなので、もうやりまし</p>

	ただけでは不完全で、実際にそのサポーターになった方がサポートして役に立ってよかったと思ったような方が、年間何人ぐらいいるか。
事務局	特にそういった集計は取っていないが、例えば先ほどもありました、徘徊搜索模擬訓練とか認知症サポーター養成講座と合わせて、認知症の方がいる町会の方と話し合いながら、実際にその訓練も含めて開催したことがこれまで数回あります。実際に受けた方がその当事者の方を見かけた時に、いつもと違う場所で見かけてどこへ行くのかなどの声をかけたといった実績はあります。ただ、それは何件あるとか、そういったものは取りまとめているのが現状ですが、実際にはそういった温かい見守りと言いますか、側面的なサポートをしていただいているというのが現状です。
委員	せっかくやる気になる方、いっぱいいらっしゃるので、その方たちに頑張ってもらえるような環境を整えるためにも、そういう数値を周知すれば、どうしたらもっと動いてもらえるかというところにつながると思う。
委員	避難行動要支援者名簿について、毎年度登録情報を更新しているという話あるが、年に一回だと足りないと思う。介護認定審査会で元気だった人が悪くなり、介護度がどんどん上がった人たちは、その時点でこの名簿に登録すれば対応しやすいと思うがいかがか。
事務局	避難行動要支援者名簿に関しては、福祉課の方で管理をさせていただいておりますが、名簿掲載する際には、本人もしくは本人の代理の方の、個人情報を扱うので、了解を得た上で、こちらの方から民生委員さんや町会長さんに情報を提供させてもらうという流れになっている。
委員	その前まで避難行動の対象じゃなくても、突然要介護認定でポンと上がれば対象者になるわけで、その段階で介護認定審査会でもその人がわかるから、その時点で誰か、行政が家族に連絡して了解もらって名簿を作れば、その都度速やかに対象者がわかっていいのでは。
事務局	今ほどお話がありました件に関しては、月に一回、民生委員さんの地区の代表の方に集まっていたいただいて、会議をさせていただいておりますので実際、了解をもらいに行っていたというのは、大体が民生委員さんの方々になりますから、こういったご意見も頂戴しておりますということをこちらの方からまたご紹介させていただきます。
委員	事前質問とその回答の資料の(3)の災害に対する備えで、避難行動要支援者名簿ですが、町会長とか民生委員さんにその後はお願いしますというような感じで書いてあるが、実際、町会単位で訓練ができているのかということを知りたい。 名簿は作ってあるが、後は丸投げというような感じにも見られるが、この行動についてのそのシミュレーションみたいものを町会とか民生委員さんに示す会議の場は設けてあるか。
事務局	年2回名簿の更新をしている。民生委員研修会で、平時の見守りでも活用していると聞いている。社会福祉協議会、地域福祉推進員にも本人、家族の同意のもと活用してもらっており、こちらから提案はしている。
委員	6ページ中段の表ですけど、脳血管疾患とか認知症とか癌などはもう防ぎようがない。転倒骨折っていうのは予防できると思うが、この後期高齢者の第2位になっている転倒骨折73名はどのような状況で起こったか、そういう分析とか情報はるか。

	<p>例えば段差がある家に住んでいるなど。居間に座布団があったり、コードがあったりして意外と転びやすい。そういう状況で転んでいるのであれば、環境を整え転ばなくなれば、本当に寝たきりにならなくて済むので人生変わるわけです。</p> <p>この転倒骨折をしっかり分析して骨粗鬆症があって軽く転んだだけでも骨折すれば医療がいりますが、その環境を整えれば予防できる転倒骨折もあると思うので、是非しっかりと把握していただいて、予防に努めてもらいたいと思う。</p>
事務局	<p>カーペットとかコードに引っかかって、転んで怪我したりというケースは私たちが把握しております。今年度導入いたしました、総合事業の短期集中のC型のサービス、前回の分科会でも説明させていただきましたが、要支援1、2の方が主に対象になるのですが、比較的まだその回復が見込める状況の時に、短期集中的な3か月の運動とそういう知識を勉強していただいて、自身の介護予防に取り組むということを今年度から取り組んでおります。是非、そういったところも取り組んでいきたいと思っております。</p>
委員	<p>寝たきりになる第1位は脳卒中脳血管障害で、2位が老衰です。第3位が転倒打撲骨折。転んで痛くて1週間か10日寝たきりになるとそのまま動けなくなるとか、または転んで骨折すれば当然6週間以上寝たまゐることが多いのでそのまま動けなくなる。</p> <p>私たちが関わって、どうにかできそうなのは、この転倒骨折なので、ぜひまたそのあたりを力を入れていただきたい。私はもちろん、みんなで力を入れるところかと思うので、またよろしく願いたい。</p>

3. 審議事項

(1) 将来推計人口及び被保険者数の推計方法について

(2) 老人福祉計画・第9期介護保険事業計画の基本理念等について

(3) 老人福祉計画・第9期介護保険事業計画の構成及び施策の体系について

事務局	説明
委員	<p>団塊の世代が後期高齢者になると健康寿命を全部超えて、これから要介護にどんどんなっていくというのが2025年。それからその団塊の世代のこども世代が第二次ベビーブームで、後期高齢者になるのが令和22年の2040年だから、ここの二つが大きな日本のターニングポイントの年で、2025年からは団塊の世代が要介護になっていき、それから2040年からは団塊の世代の子どもたちの世代が75歳を超えて、要介護になっていくので今の報告は大体予想通りですが、そこを支える保険料を払っている人たちのところについては記載がないのでよくわからないのですが、支えきれぬのでしょうか。そこを支える財源がある。その財源の方の推移はどうなのですか。</p>
事務局	<p>第1号被保険者の保険料ですが、被保険者数をもとに令和6年度から令和8年度、第9期計画期間中の保険料のごく荒い試算を進めているところであります。国が示した将来推計シートをもとに、保険料を算出したところ、七尾市では何もしない状態、これを自然体推計といいます。その推計をもとに算出すると、基準額で6,700円前後が第9期事業計画の保険料</p>

	<p>基準額となっています。それを様々な事業や、いろいろな要素を絡めながら現在、保険料の急激な上昇を抑えるという形で、作業を進めているのが現状です。</p>
事務局	<p>説明</p>
委員	<p>8期の検証をこれからも続くと思うが、それをベースにして9期の計画を立てると思うが、特に重点的に、この計画に何が必要なか実際やろうとしたことを中心的に、それはなぜなのかをきちっと検証した形で計画に盛り込んでほしい。同時に確かに基本的なものは変えるべきではないが、その基本的なものの中で、いろんな社会情勢とか、取り巻く環境とか、いろいろと変わってくると思う。それを予測するのは難しいと思うが、ある程度見込み的なものを入れながら、計画を出していただきたい。これはお願い要望です。</p> <p>計画を立てればいいじゃなく、実践するために、具体的にこれをやりたいのであれば、例えば包括支援センター。地域との連携とか、いろんなことで実践したいと思いつつながら、なかなかできないのが現状です。これは特別な形で支援していかないとなかなか浸透していかないと。思う。</p> <p>特に強化事項というものをどこかにポイントに入れていただければ、非常にわかりやすいので、各地域にとってもそれを中心的にやりましょうという話になるので、その辺だけお願い要望いたします。</p>
事務局	<p>今回は大分類と中分類ということで、まだぼやっとしたところですが、第3回につきましては、具体的な政策の提案をさせていただきます。会長も言われたように、優先順位をつけた上で強化すべきところはまたわかりやすく提示できるようにしたいと思います。</p>
委員	<p>29ページの認知症施策の推進について、七尾市において認知症の問題が非常に大きいと思う。前回のあったかプランでは、介護認定を受けられた原因の疾患、同じく認知症が1位だったが、その時には21.9%でした。今回の令和4年の疾患の1位の認知症23.1%ということで確実に増えている。国の方でもやはり認知症については、1位になっているが、平均は18.1%になっている。</p> <p>基本的に七尾市においては認知症が非常に問題ではないかと感じている。もう一つは現場の話ということでお伝えしたいと思うのですが、県内の施設においても、特に能登地区においては介護人材不足が非常に大きな問題になっています。</p> <p>石川県の長寿社会プランにおいても介護人材の確保というものは、きちっと項目として明記されています。そういうことも考えますとできれば、七尾市のあったかプランの中にも項目として、介護人材確保ということが明記された方が私はいいかと。例えば、認知症サポーターとか、それから介護支援サポーターですか、養成して先ほど数字だけ上がっているというような状況でしたが、その人たちの活躍する場ということで、例えば施設の中における徘徊とか、見守りというところに、そういった方々を配置するというか、ボランティアとして来ていただいて、介護するのではなくて、話し相手とか見守りということで、デイサービスとか入所の施設で認知症の方を支援するようなお手伝いをしていただければ、すごく現場も助かるという声も聞いているので、認知症における支援策っていうものも現場の話も聞いて、検討していただきたいと思う。</p>

委員	<p>現場もお世話するのに手一杯で目が行き届かないケースもある。そういう時に、このサポーターの方々が来て、話し相手になるとか、転倒しそうだとかの見守りをしていただけると、現場もみんな困らないのじゃないかなと思う。</p>
事務局	<p>生産年齢人口も減っており、担い手不足というのは非常に私たちも大きな課題だと考えております。認知症サポーターについては、地域での温かい見守りというところで、生活・介護支援サポーターも養成しつつ、その活動の場がないということは、この分科会においても継続的にご意見としてはいただいております。そういった活用をまた少し前に進めるように検討はしていきたいと思ひ、介護予防ポイント制度の拡充をさせていただきました。実際にボランティアに出られた方に、最大 8,000 円の商品券に換金できるというところで、ボランティアの養成も進めております。今、少しコロナ禍で施設に入ることができないのが現状なので、そういったボランティアの方々の協力も得られるようにしていきたいと思っております。</p> <p>認知症は減ることなく増えると予想されるので、早期発見、早期対応というようなところで健診であるとか、特定保健指導を受けていただひての予防と、あとは介護予防を進めていくというところで、9期におきましては、認知症施策、全体的なサポートと個人への支援ということで、強化するために中項目を増やしておりますので、その辺の具体的施策も今度ご提示できるように努めたいと思ひます。</p>

3. その他

委員	<p>3ページの調査資料ですけど、上の方の世帯数の例えば 65 歳以上高齢者のいる世帯比率となると 57.7%ですよ。別に数字が誤っているわけじゃないが、例えばベトナムの方とかミャンマーの方とか外国人労働者がいる。その方たち、例えばアパートに 6 人いるとかっていうケースもありますけど一人一世帯ですよ。</p> <p>一人いても一世帯ですけど、実際にこの数字って、65 歳以上の方がどれぐらいいるからどうなのという施策の方に向けた数字だと思うので、実際には 57.7%ですけど、その何百人かいる外国人労働者一人世帯で数えてますから仮に、それを抜けば多分 60%超えているのじゃないかと思う。60%も超えているならじゃあどうしようっていう風なもの考え方をした方がいいと思うので、あまりこの数字は実際に間違っているわけじゃないんですけど、そういうからくりみたいなものもあるので、もう少し現場は大変なんだということは、知っておきたい。皆さんご存知だと思いますが、お知らせしておきます。</p>
事務局	<p>今後の分科会の開催日程について説明</p>

閉会

石川副会長 閉会あいさつ 終了